「こんな　やすいのに、
　直観がないのか。
　気が付かなかった。」
と、苦にしても、
いまさら、始まらん。

ただ、今となっては、
「もう、僕はその問題は解く事が出来る。」
と納得することが、
せめてもの慰めだ。

と、自己に悟らすに、ひと苦労。

朝、少し雪が降っていた。
しかし、帰る時は、もう晴天。

「いつも、こんな天気だったらなあ。」と思う。

三時二十五分頃の各停。

新学期からの独学の予定を立てる。
学校の勉強以外で、自分がやりたい勉強だ。
一昨日と同じく、今日も好き焼きだ。

赤い牛肉が一杯ある。

お膳の上に乗せた「ひちりん」を
僕たち、食欲旺盛な男兄弟四人で、
囲んで、元気よく　食う。

59　ニコニコしながら見ている・・・・・・・・・・262

萩原良昭